

看護職員 ガイダンスブック 2024

Nursing Guidance Book 2024



- ①熊本駅前バス停から第一環状線(左回り)に乗車、大学病院下車(所要時間約15分)
- ②交通センターから八王子環状線、御幸木部線(バス)に乗車、大学病院下車(所要時間約15分)
- ③九州自動車道熊本インター出口国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折(所要時間約30分)
- ④熊本空港からリムジンバス熊本交通センター行きに乗車(所要時間約50分)交通センターや下車
(公共交通機関をご利用の場合は②参照・タクシーに乗車した場合所要時間約10分)

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL. 096-344-2111(代表)
<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp>

看護部公式
LINEアカウント



— 伝統と革新 —



あなたとつむぐ、 未来の看護



「尊い命を救いたい」「患者様の支えになりたい」「笑顔で元気を届けたい」

想いをこめた看護は、患者様とご家族、そしてあなた自身の未来を育みます。

人を想うあなたの心を大切に、未来を育む看護の形をつくっていくことを
私たちは目指しています。

看護部長メッセージ Message

特定機能病院で求められる看護実践能力と
しなやかな人間力を、一緒に磨きませんか？

特定機能病院の看護師として必要な看護実践能力を身につけると同時に、人として成長していくこともまた、とても大切に考えています。大学病院ならではの教育プログラムを積極的に活用して自己学習ができる人、組織の一員として自覚と責任ある行動をとれる人、同僚や他の医療従事者と丁寧なコミュニケーションを図れる人。そして、いつも相手を慮る心と、辛いことがあっても頑張り抜ける強い心を持った人……。私たちが理想とするそんな看護師を、あなたと一緒に目指していきませんか？技術や知識、環境など、新人の頃は不安があつて当たり前です。看護部全体で皆さんの成長を応援していきます。ぜひ、私たちと一緒に看護師としても、人としても成長していきましょう。



看護部長 山本 治美

Hospital introduction

高度な医療と看護を提供し優れた医療人を育成する、
250年以上の歴史を誇る、県内唯一の大学病院。



病院理念

本院は、高度な医療安全管理によって、
患者本位の医療を実践し、
医学の発展及び医療人の育成に努め、
地域の福祉と健康に貢献する。

基本方針

- ・高度な医療安全管理体制による安全安心で質の高い医療サービスの提供
- ・患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- ・先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
- ・地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
- ・理念達成のための健全な運営・経営の実践

当院は厚生労働省から特定機能病院の承認を得ているほか、都道府県がん診療連携拠点病院、高次脳機能障害者支援拠点機関、熊本県基幹型認知症疾患医療センター、肝疾患診療連携拠点病院などの指定を受

けています。さらにICU、CCU、NICU、GCU、MFICU、SCU、HCUの特殊病棟60床の承認を得るなど、熊本県の医療をけん引する役割を担っています。

病床数
845 床

一日の平均患者数(令和4年度)
外来…1,453名 入院…675名

職員数(令和5年6月現在)
看護職…883名 医師…640名

診療科・部門

・呼吸器内科	・婦人科	・中央検査部	・地域医療連携センター	・総合臨床研究部
・消化器内科	・小児科	・中央手術部	・総合周産期母子医療センター	・医療情報経営企画部
・血液内科	・産科	・中央放射線部	・がんセンター	・薬剤部
・膠原病内科	・整形外科	・集中治療部	・ME 機器センター	・看護部
・腎臓内科	・皮膚科	・中央材料部	・地域医療支援センター	・医療技術部
・糖尿病・代謝・内分泌内科	・形成外科	・リハビリテーション部	・移植医療センター	・栄養管理部
・循環器内科	・眼科	・病理部	・災害医療教育研究センター	・医療の質・安全管理部
・脳神経内科	・耳鼻咽喉科・頭頸部外科	・輸血・細胞治療部	・肝疾患センター	・感染制御部
・心臓血管外科	・歯科口腔外科	・救急部	・アミロイドーシス診療センター	・事務部
・呼吸器外科	・画像診断・治療科	・感染免疫診療部	・嚥下障害診療センター	
・消化器外科	・放射線治療科	・腎・血液浄化療法センター	・神経免疫疾患抗体測定センター	
・乳腺・内分泌外科	・神経精神科	・総合臨床研修センター	・心臓血管センター	
・小児外科	・脳神経外科	・光学医療診療部	・脳血管病センター	
・移植外科	・麻酔科・緩和ケア	・臨床試験支援センター	・生殖医療・がん連携センター	
・泌尿器科	・総合診療科	・高度医療開発センター	・神経難病センター	



SCU 脳卒中ケアユニット

熊本県唯一の脳卒中集中ケアを行なう部署。急性期からリハビリ期、さらに退院後の生活を見据えた治療・ケアを専門医師や看護師など、多職種で行っています。



NICU 新生児集中治療室

新生児医療に習熟した小児科医と看護師が産科や小児外科と連携し、ハイレベルな医療を提供。赤ちゃんの命を救うと共に、赤ちゃんに優しい環境の提供や母乳育児の推進に取り組むなど、家族の絆を大切にします。



ICU 集中治療室

当院は集中治療専門医認定施設であるため、高度な治療を医療チームで実践する環境を整備。県内から近隣県までの方を対象に、術後や救急の患者様の治療・ケアを行っています。



OPE 中央手術部

手術件数:8,025件/年間(※)。手術支援ロボット・ダヴィンチや、カテーテル治療と外科手術を組み合わせた手術ができるハイブリッド手術室を有し、最先端の手術医療を提供しています。

(※)R4.4.1～R5.3.31



MFICU 母体・胎児集中治療室

重症妊婦高血圧症候群、前置胎盤、胎児異常などハイリスク出産のリスクが高い母体・胎児に対応する部署。緊急時分娩や手術ができるよう整備された個室を完備し、妊娠婦婦の想いを尊重した看護を実践します。



Heliport ヘリポート

中央診療棟屋上にヘリポートを併設しており、“熊本型ヘリ救急搬送体制”における基幹病院(4病院)のひとつとして、2機のヘリによる効率的な受け入れに対応。搬送する患者様は県内だけでなく、近隣県に及びます。

Nursing Division

命のすぐそばで、今日も心をこめて働く。
そんな人たちを温かく、力強く
見守る看護部を目指しています。



看護部理念

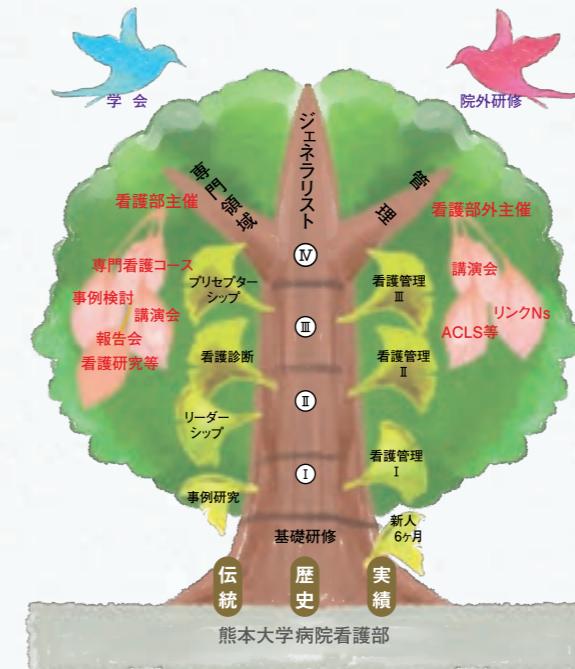
私たち一人ひとりを尊重し、
安全安心で信頼される看護に
最善を尽くします

基本方針

- ・高度な医療安全管理体制による質の高い看護の実践
- ・患者の生活の視点に立った全人的看護の実践
- ・専門職として常に研鑽を重ね、
仕事に自信と誇りを持った看護職の育成
- ・多職種と協働するチーム医療の推進と
地域医療への貢献

看護部キャリア開発図

大学病院にふさわしい知識と技術を習得し、それぞれが目指す領域で活躍できるように支援する体制を整えております。キャリアに応じて求められるスキルを自分のペースで無理なく学び、ジェネラリスト、管理職、さまざまな専門領域へ高められることが特長です。



安全・安心な看護提供方式「PNS：パートナーシップ・ナーシング・システム」

看護師みんながベテランではないので、安全に、患者様に満足して頂ける医療を提供するため、パートナーと2人1組で業務を行う看護提供方式「パートナーシップ・ナーシング・システム」を取り入れています。重症の患者様も多く、治療方法も目覚ましい勢いで進歩する大学病院。チームを組んで、話し合い、確認しながら業務を行うことで仕事の質の向上にもつながっています。

間近で見る先輩の看護から、学ぶことがたくさん。

新人	先輩
多田 水葵 西病棟 5階（脳神経外科）	國安 将和 西病棟 5階（脳神経外科）
	
一人での判断や対応に困る場面が多い中、先輩のペア看護師に相談しながら業務を行うことができるので安心して仕事ができています。初めてのことやできなかったことに落ち込んでいると「できなくて当たり前」と声をかけてもらい、焦らなくても大丈夫なんだ、と気が楽になったことも。先輩看護師の考え方や知識を知る機会にもなっており、日々の学びに繋がっています。	新人看護師とは男女や経験年数の差がありますが、できるだけ同じ視点で患者さんを捉えられるようコミュニケーションに気を付けています。教える立場は基本を理解していないといけません。そういう意味でPNSは先輩看護師も一緒に成長できるシステムだと思います。常に2人1人の患者さんを受け持ち、互いに情報を共有するので異常の早期発見に繋がるのも利点です。

その日の患者様の情報収集が終わったら、ペアの先輩とともに患者様の状態確認へ。モニターや各種医療機器から情報を取りこぼさないことを意識しながら、患者様の表情、顔色もチェックします。



患者様の状態が変化したときや、スタッフ同士で特に話し合いたいことについてはカンファレンスを実施。ペアの先輩とともに、他の先輩たちの発言を聞くことは、看護を実践する上でとても役に立ちます。

Education System

1年目も、キャリアを積んだ後も。
いつだってあなたの「なりたい」を応援する
教育プログラムを用意しています。



教育理念

一人一人の権利を尊重し、
信頼と安全安心な看護を提供できる
看護職を育成する

教育方針

1. 患者・家族の意思を尊重し支援できる看護職を育成する
2. 根拠に基づいた看護が提供できる看護職を育成する
3. 専門職として自律・自立・責任と役割を自覚した行動ができる看護職を育成する
4. クリニカルラダーと連動した教育を行い、看護実践能力を高め、さらにキャリア開発を支援する

クリニカルラダー

	LEVEL I	LEVEL II-1・II-2	LEVEL III	LEVEL IV・自主研修	
職務目的	ガイドラインが必要	自分で考え行動できる	チームメンバーに指導できる	専門性を発揮する	
臨床実践	マニュアルや指導を受けながら看護を実践する。	自ら自立し、主体的に看護を実践する	看護実践において役割モデルとなる	専門分野での役割モデルとなる	
管理	指導を受けながら看護を提供する	患者の個別性に応じた看護を提供する	患者・家族の満足度の高い看護を提供する	看護実施において専門性を発揮する	
成果責任	組織の中の一員である事を自覚し行動する チームメンバーとしての役割を認識し活動に参加する	チームメンバーとして主体的に行動する	チームメンバーとともに組織づくりに参画する	課題を明確にし、管理行動がとれる	
教育	院内における教育プログラムに参加する	習熟度が未熟な看護師を指導する 院内外の教育プログラムに積極的に参加する 自己の課題を明確にする	チームメンバーを支援する 自己実現に向けての研修に参加する	看護単位における教育的役割をとる 専門分野における研修に参加する	
研究	看護研究に参加する	看護研究を計画し主体的に取り組む	臨床実践を裏付ける看護研修を行う	専門分野における研究・開発を行う	
	看護管理研修 看護過程研修 IV基礎研修 フィジカルアセスメント研修 褥瘡リンクナース研修 緊急時の対応（院内心肺蘇生トレーニング部会との協働） がん看護	フィジカルアセスメント研修 安全な注射与薬指導者研修 IV研修 事例研究発表会 療養支援研修 がん看護 メンタルケアアーティレーニング研修 ブリセフターシップ・フォローアップ研修 災害看護研修 家族看護 看護倫理 現任教育における人材教育と教育技法	看護研究 事例検討 (ロイ看護論、オレム看護論) 基本的日常生活援助技術指導者研修 評価者訓練 フィジカルアセスメント研修	看護管理者研修 看護研究 事例検討 (精神看護、看護倫理) 退院支援 糖尿病看護	専門認定看護師企画研修 ①不妊症治療看護 ②ストーマケア ③糖尿病看護 ④新生児集中ケア ⑤せん妄アセスメント ⑥慢性心不全 ⑦糖尿病看護

育児休業復帰支援プログラム

出産・育児で休業された方が安心してスムーズに職場復帰できるように、支援プログラムを設けています。

最近の病院・看護部の新システムの説明
採血・静脈注射(IV ナース取得者対象)研修
シミュレーション研修(輸液ポンプ、吸引、導尿技術など)



LEVEL II-1

自分で考え行動できる

学ぶ姿勢の大切さは新人も先輩も同じだと実感。

慣れないことが多く大変だった新人時代を乗り越え、少しづつ知識と技術が身に付いてきました。熊本大学病院では日々の業務を行なながら看護が必要な知識や技術の基礎をしっかりと学べる環境が整っているので、学んだことはすぐ実践へと活かすことができます。しかし、ラダーII-1では自分で考えて自ら看護を提供していかなくてはいけません。そのためにはまだ未熟な点がたくさんあり、勉強をする毎日です。私が所属する病棟では複数の診療科の患者さんが入院されており、幅広い領域の病状の方が多いため初めて知る疾患を持った患者さんや特定の手術を受けた方のケアに入ることがあります。ベテランの先輩でも分からぬことがある時は、一緒に調べながら勉強することも。そんな先輩の姿を見ていると、現状に満足せず常に新しいことを吸収しながら看護の能力を身に付けていく大切さを実感します。先輩方の学びに熱心な姿勢は、見習うことばかりです。

渡辺 洋平

東病棟 8階（混合病棟）
2021年入職



LEVEL II-2

自分で考え行動できる

自分が学びたいことを見つけられる環境。

ラダーII-2では一つひとつの看護を大切にしながらも、俯瞰的視点を持つて全体を把握しながら動ける力が必要です。また後輩へ教える立場となっていくので、後輩の良きモデルになるため日々適切な指導教育ができる力も求められます。人に教えることは、看護とはまた違った難しさがあるもの。今後自分自身がどう教えていくべきかを知るために、今は大学院へ通って「看護教育のあり方」を勉強しているところです。熊本大学病院の魅力は、なによりも充実したその教育体制に尽きます。1年目はカリキュラムに沿って基礎から丁寧に教えてもらえるため、新人の時に「何を学ぼう」と迷うこともありません。ある程度経験を積んで学びたい方向性が見えてくると、自分に合った研修や学会への参加をサポートしてもらえる環境です。スタッフのみなさんも困っている時はすぐに助けてくれ、多くのことを教えてくれる病院なので、ぜひ一緒に働けたらうれしいです。

工藤 万由佳

西病棟 10階（混合病棟）
2013年入職

Rookie Training



教育体制

研修責任者	新人研修プログラムの策定、企画・運営に対する指導・助言
教育委員会等	プログラムの企画・運営組織（委員会等）



新人看護師研修年間スケジュール



新人看護師の1日スケジュール



新人看護師 先輩看護師の丁寧なサポートに安心して実践に臨めています。

東3階病棟（消化器内科）2023年入職 岡山 結奈



看護の現場は、教科書で学んでいた情報だけは分からぬこともあります。困った時は、先輩看護師がその場で直接指導をしてくださります。例えばバイタルサイン測定で患者さんの全身状態を観察する際、私は浮腫みなど一部の観察を行っていたのですが、プリセプターの先輩看護師がすかさず他にも見るべき場所や大切なポイントを教えてくださいました。実践で新たに学ぶことも多く、

さらにその知識や技術をすぐに活かすことができるので、「できた！」と自信に繋がります。仕事が終わったら「何か困ったことはあった？」と先輩看護師が気にかけてくださり、疑問点などはすぐに聞けるため不安なく過ごすことができています。気遣いの優しい先輩方に囲まれた環境は、新人にとってとても心強い職場です！

プリセプター コミュニケーションを大事に、一緒に成長を喜び合える存在へ。

東病棟3階（消化器内科）2018年入職 村本 沙穂里



プリセプターは新人看護師へ教える立場なので、正しい知識がないといけません。指導の前に振り返りをしていると自分が曖昧にしていた所に改めて気づき、気が付けば復習になっていることもあります。また指導だけでなく、メンタルフォローもプリセプターの重要な役割です。私が常に心がけているのは、いつも話しやすい雰囲気でいること。相談された時は答えを教えるだけで

なく、新人看護師自身にしっかり考えてもらうように意識しています。新人の成長を共に喜び、一緒に成長していくのは、プリセプターならではのやりがいではないでしょうか。私は看護師8年目で当院へ転職したのですが、充実した教育体制に驚き、うらやましく思いました。新人の時からしっかり学べる大学病院で、ぜひ一緒に働きましょう。

看護師長 看護師としてのやりがいを感じられる、そんな病棟を目指して。

東・西病棟3階 2003年入職 井上 有子



新人看護師の実践における直接的な指導はプリセプターや部署のスタッフが行いますが、基本的には病棟スタッフ全体で新人看護師教育に携わってサポートできるようにしています。新人の時に基礎を学ぶことはもちろんですが、まずは自分で考えることも大切。研修を受けた後などは、どのような学びを得たのか、また今後どのように活かしていくなどを新人看護師に聞いて、学んだこ

とがきちんと生きるように工夫した指導をしています。また看護師長として大切な仕事は、スタッフが生き生きと働くことができるような職場づくりです。看護師は大変な職業だからこそ、スタッフのケアや取り組みに対してプラスのフィードバックは積極的に行なっています。看護師としてやりがいを感じられる、そんな病棟でありたいですね。

Team Medicine

一本のバトンをつなぐように
さまざまな専門家たちの想いがつながれば、
もっと大きな力に。私たちは「チーム医療」にも
積極的に取り組んでいます。

心臓血管センター

主に心不全患者様の疾病管理やセルフケアに関する指導を行うとともに、家族へのサポートや在宅復帰のための支援を行っています。センター内では診療方針検討のためのカンファレンスを定期的に開催するほか、植え込み型補助人工心臓を導入された方の管理も実施。高齢化社会を迎え、心不全患者様の急増が予想される現在、心疾患での再入院を予防するために大切な役割を担っています。



教授・診療科長
辻田 賢一

治療に対する患者様のモチベーションは看護師によって大きな影響を受けます。だからこそ心臓血管センターでは主治・主看護師が積極的な議論を交わせる環境をつくることが目標。時に議論がぶつかりあうことも歓迎できるような熱い職場が理想です。



看護師
谷口 あゆみ 2007年入職

ベッドサイドが仕事場の私たちは、患者さんといろいろな話をできるチャンスがあります。残りの人生の過ごし方と一緒に考えたり、医師には言えなかった本音に耳を傾けたり。それらをただ聞くだけでなく、必要な人と共有し、より良い医療や看護につなげていく。それがチーム医療の中で看護師が発揮できる大きな力のひとつだと思います。もちろんその他の業務があり、どんなときでも患者さんと話をする余裕を持てるわけではありません。それでも少しでも多くの時間を患者さんと向き合えるように、業務効率の改善を図りながら、もっと看護スタッフが患者さんと近くなる環境づくりに取り組んでいます。



医療の質・安全管理部

熊本大学病院の医療の質向上と、患者安全のために活動する専門チーム。各病棟から報告されたインシデントレポートを分析し、そこから見えた要因に対して新たなルールづくりやカルテシステムの改良などを行っています。医師、看護師をはじめ、メンバーはそれぞれの専門領域で活躍しており、院内のあらゆる部署からの相談に対して多岐にわたって意見を交換しています。



医師
近本 亮

病院を良くするための処方箋とも言える「インシデントレポート」を提出するのは、大半が看護師さん。いつも患者さんに寄り添い、間近で関わっている看護師さんならではの視点が、より良い病院づくりに大きな役割を果たしています。



看護師
森山 嘉子 [看護師長] 2006年入職

他職種(医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床心理士、事務員)が集まり、ケアとキュア、そのどちらの質も高めるために活動しているのが、私たち「医療の質・安全管理部」です。部署の名前に「管理」とついていますが、私たちは一方的に指導、管理するのではなく、現場と一緒に医療をよくしていく仲間。どのようにすれば患者さんや医療スタッフ間でスムーズなコミュニケーションが取れるのか。ミスの起らない環境をつくるのか。現場の声に耳を傾けながら、医療スタッフが働きやすく、患者さんが安心できる環境をつくるのが役割です。



栄養サポートチーム(NST)

感染制御チーム

精神科リエゾンチーム

臨床コンサルテーションチーム

緩和ケアチーム

褥瘡対策チーム

心臓血管ケアチーム(CCT)

地域医療連携

この他にもたくさんの職種が患者様・ご家族を中心に連携しています。

Specialist

もっと深く、もっと広く、看護の力を届けるために。
そんな想いを胸に秘めた
たくさんのスペシャリストたちが私たちの仲間です。



がん看護専門看護師・がん性疼痛看護認定看護師

多職種の方と連携して、がん患者さんの悩みに寄り添うケアを。

安達 美樹 2002年入職 がん看護専門看護師／緩和ケアセンター
坂口 まみ 2008年入職 がん性疼痛看護認定看護師／緩和ケアセンター

当院で活躍している専門・認定看護師

専門看護師

がん看護
精神看護

認定看護師

皮膚・排泄ケア
不妊症看護
感染管理
がん化学療法
緩和ケア
がん性疼痛看護

集中ケア
糖尿病看護
救急看護
手術看護
認知症看護

当院で活躍している特定行為研修修了看護師

外科術後病棟管理領域



手術看護認定看護師

チームを引っ張る存在として、他部署との連携も積極的に。

吉田 裕二朗 2010年入職 中央手術部



入職後に配属になったのが、現在も働く手術室でした。ここで外科医、麻酔科医、看護師、技師がチームとなってひとつの手術を無事に終わらせていくことにやりがいを感じ、さらにスキルを磨きたいという気持ちに。特定の領域に精通し、看護の現場で中心的な役割を担うスペシャリストの姿に、学生時代から憧れを抱いていたこともあり、3年目の頃にはすでに認定看護師試験の勉強をはじめていました。資格を取得するための半年間は、かけがえのない時間になりました。もう一度学生に戻ったように勉強に励む。そして同じ志を持った仲間と出会える。私がそんな貴重な経験をするために、家庭を守ってくれていた妻、そして業務の穴を埋めてくれていた病棟のみんなには、本当に感謝しています。今後、手術看護は術前・術後を含めて周手術期にトータルに関わっていくために、病棟や外来と連携することが不可欠です。手術看護チームを引っ張る存在として、私自身が積極的に多部署とのコミュニケーションを図っていかなければいけません。

Regional Cooperation Medical

特定機能病院として先進医療などを受けられた患者様とご家族が、住みなれた地域で安心して療養生活が送れることを目的とした、地域医療連携センターがあります。看護師はNICUコーディネーター、医療ソーシャルワーカーといった他職種と協働し、転院調整や在宅療養支援、その他病気によって生じるさまざまな相談を受けています。活躍の幅は広く、病棟から外来、在宅まで必要に応じた場所で看護を行います。



まずは患者さんやご家族の不安を除いてあげること。

澤野 麻子 地域医療連携センター 2012年入職

育休の復帰後に配属となり、3年目を迎えるました。もともとは馴染みのない分野でしたが、あえてチャレンジする気持ちで地域医療連携センターにやってきました。大学病院という急性期病院での治療を終え、患者さんとご家族が病気とともに地域で暮らしていくために、どのような意向や治療への思いがあるのか、支援が必要な部分がないか、医師や外来看護師、病棟看護師、薬剤師や栄養士など多職種の方と情報共有を行いながら、退院後の生活に向けて地域の医療機関やケアマネージャー、訪問看護師、行政とも連携し、療養支援の道筋を描くのが私の役割です。病棟の時とは仕事の内容がまったく変わり、最初は戸惑いもありましたが、実は一番大変なのは時間の管理でした。医師の空いている時間に合わせて電話をしたり、ご家族が来られる間に病棟へ向かったり、毎日院内を行ったり来たりしながら退院や転院の調整を行っています。また患者さんやご家族の方のなかには、経済的な不安から治療継続を迷



われている方も。私の元へは「入院費が払えるか心配」「退院後に仕事に復帰ができるのか」といった相談がたくさん寄せられます。地域医療連携センターでは患者さんが療養に専念するために適用できる制度を提案し、不安を軽減しながら経済的支援や就労支援へと繋ぐお手伝いもしています。「誰に相談すればいいか分からなかった」という声も多いので、どんな困りごともまずはここが窓口になれることを知っていただけるような活動をしています。これまで担当した患者さんやご家族からは、感謝の気持ちを伝えていただくことも多く、患者さんがお亡くなりになった後にご家族から「おかげで家に連れて帰り、一緒に過ごすことができました」と連絡をいただいた経験はずっと心に残っています。多職種との連携は勉強すべきことが多くありますが、患者さんやご家族の力になれていると実感を持って仕事ができています。



Welfare

中心市街地まで
徒歩10分のロケーション

ライフステージに合わせた働き方で
看護師として長く活躍できる場

角田 佳代子 2009年入職

時短勤務制度を取得して小学校2年生と4年生の子どもを育てながら看護師をしています。熊本市は九州各地へのアクセスがよく、独身時代は福岡で開催される研修に行き、遊んで帰っていたことも。最近は熊本駅周辺の開発が進んで、市内でも楽しめる場所が増えました。休みの日は面白そうなイベントを探して家族で遊びに行ったり、少し足を延ばして阿蘇の山や天草の海に出かけたりと、母親目線でも都心と自然が両立したい環境だと思います。熊大病院はライフステージに合わせた働き方を柔軟に対応してもらえるので、長く働きたい方にもおすすめの職場です!

看護師寮

安全で快適な住環境が特長の看護師寮。毎日のお買い物、食事や映画鑑賞など、お出かけも気軽に楽しめます。

また、病院の敷地内にあるため、安全で通勤の負担もありません。トレーニングルームや図書室兼研究室の利用も可能です。

保育所

院内保育所

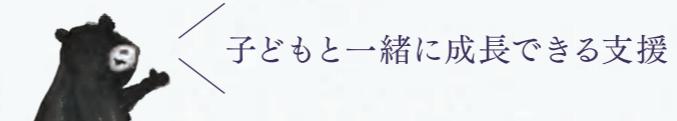
当院では産休・育児休暇を取得した方の復帰をサポートするために、2013年に院内保育園を開園。お子さまが安全・快適に過ごせる万全の体制で取り組んでいます。

対象年齢 生後8週間～2歳

(一時預かり/小学校就学までの乳幼児)

保育時間 7:00～19:00(延長/19:00～22:00)

夜間保育時間 15:00～翌朝10:00(火・金のみ)



学内保育園「こばと保育園」

学内保育園「こばと保育園」は人格形成の基礎を育む大切な時期をのびのびと過ごせるよう、アットホームな雰囲気の中、お子さまの個性と自主性を尊重した、一人ひとりの心に寄り添う保育を心がけ、お子さまの成長を見守ります。

対象年齢 生後8週間～小学校就学までの乳幼児

保育時間：月～金 7:10～18:00(延長/18:00～20:00)

病児保育室

対象年齢 生後6か月～小学6年生

保育時間：月～金 7:00～18:00